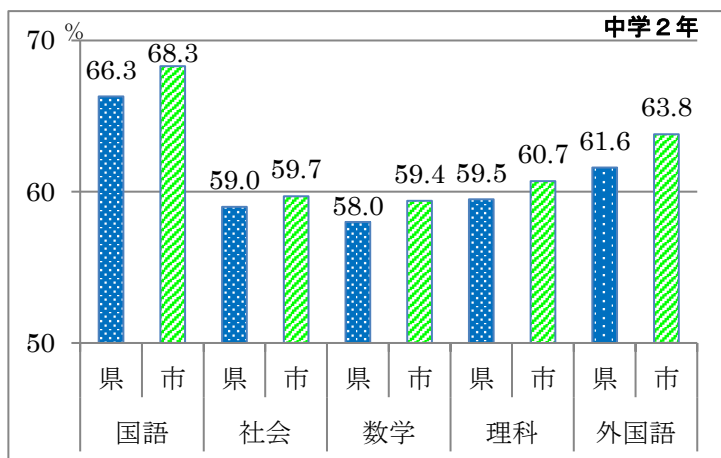


令和4年度千葉市学力状況調査結果概要（中学校版）

1 県と本市の平均得点との比較



【県平均を上回るものの下降傾向】

中学校2年では、国語2.0点、社会0.7点、数学1.4点、理科1.2点、外国語2.2点と、全教科で市平均得点が県平均得点を上回っている。令和3年度と比較すると県平均との差が平均すると0.5点ほど小さくなっており、下降傾向にあるといえる。

2 各教科の改善策

【国語】 表現の特徴や表現の仕方およびその効果を捉えながら読む活動の充実

- 情景描写から登場人物の気持ちを読み取ったり、場面の展開や表現が異なれば、どのような効果の違いがあるかを考えさせたりする授業を取り入れていく。
- 歴史的仮名遣いが含まれる韻文は音読を通して語句を捉え意味を理解し、リズムを味わうことで作品に親しませたり、生徒の日々の生活や社会生活と結びつけさせたりすることで理解を深められるようにする。表現の仕方やその効果を捉えながら読む活動を取り入れると効果的である。

【社会】 資料を活用し、必要な情報を読み取り、思考力・判断力・表現力等の育成を図る

- 歴史的分野において、我が国の歴史的事象を把握できるようにするために、歴史学習に関わる資料を活用し、社会的見方や考え方を働かせ、理解したことを自分の言葉で適切に表現できるようにする。
- 地理的分野において、地域的特色等について読み解くことができるように、諸資料を多面的・多角的に考察し、必要な情報を読み取ることや資料と既習の社会的事象を結び付けて考えさせるような場面を学習過程の中に意図的に設定していく。

【数学】 生徒が進んで複数の解き方を考え、表現できるような授業改善

- 幾つかの文字を含む整式の四則演算ができるようにするために、二元一次方程式や連立二元一次方程式の学習の過程において、次数が2以上の式にも触れ、一次式と二次式を比較するなどして、次数の理解を促す場面を設定することが大切である。
- 一次関数についての理解を深めるために、2点の座標から一次関数の式を求める学習では、一次関数の式や変化の割合を求める式の文字に値を代入して形式的に変化の割合を計算して求めることのみならず、学習内容が偏らないようにすることが大切である。

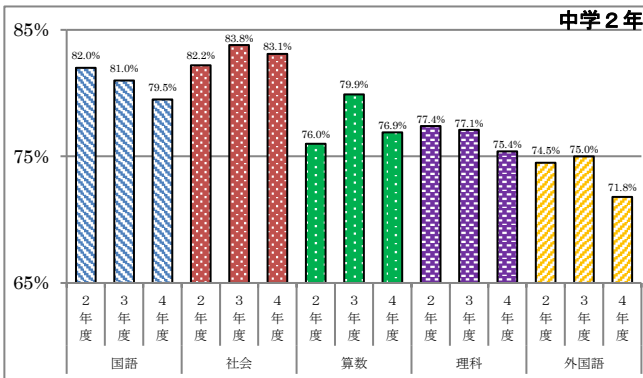
【理科】 理科の見方・考え方を働かせて考察したり、多面的に考えたりする活動の充実

- 観察・実験を行う上での留意点について、誤操作等による危険性・問題点を具体的に挙げながら多面的に考えさせる活動を繰り返し行う必要がある。
- 観察・実験について結果の表やグラフ、図等をもとに理科の見方・考え方を働かせて考察する活動を多く取り入れる必要がある。

【外国語】 丁寧かつ生徒の表現力が広がるような指導の工夫

- 比較表現において、比較級と最上級について、学んだ後、それぞれを比べながら整理する指導を丁寧に行う時間を設ける。
- 「話すこと（やりとり）」の指導において、相手の質問の答えとして適切な表現にはどんなものがあるかを考えさせたうえで、言語活動に取り組みさせることで、表現の幅が広がるように指導していく。

3 学習に対する意識（学校の勉強がわかる）



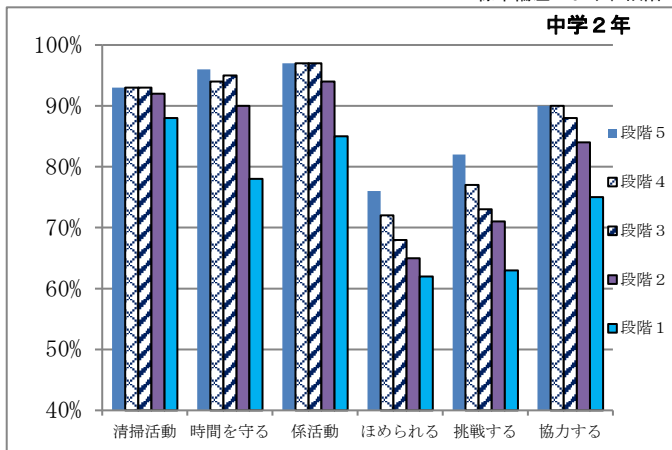
全教科で、「学校の勉強がわかる」の肯定的回答率（※）が昨年度を下回っている

「学校の勉強がわかる」の質問において、国語は0.5ポイント、社会は0.7ポイント、数学は3.0ポイント、理科は1.7ポイント、外国語は、3.2ポイントと、すべての教科において、昨年度と比較して数値が下回っている。

※肯定的回答率とは、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答率

4 学力と学校生活との関連

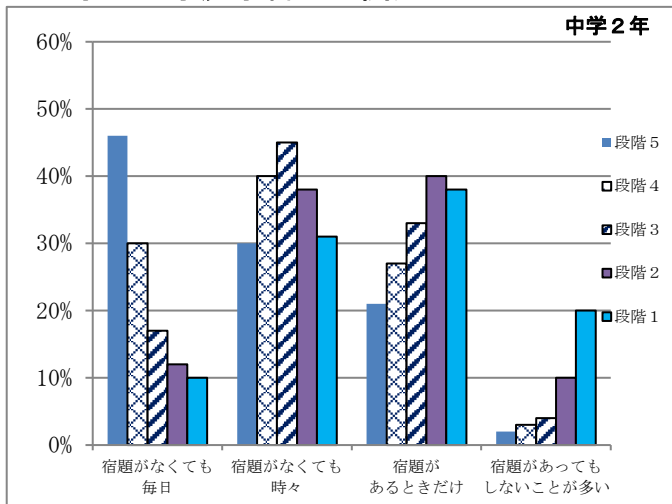
標準偏差により、段階5を成績上位群、段階2～4を成績中位群、段階1を成績下位群としている。



「成績上位群・中位群」と「成績下位群」では、学校生活の態度に大きな差がある

「成績上位群・中位群」と「成績下位群」では、学校生活の態度における肯定的回答率で差があり、上位群ほど学校での生活によく取り組んでいると答えている。特に「係活動」「清掃活動」「時間を守る」「協力する」が高い数値を示している。「ほめられる」は、成績上位群に比べて、中位群・下位群が10ポイント以上低い数値となった。

5 学力と家庭学習との関連



「成績上位群」は自分から家庭学習に取り組んでいる

「成績上位群」は宿題がなくても毎日、「成績中位群」は時々家庭学習をしている生徒の割合が大きい。「成績下位群」では、宿題があってもしないことが多い生徒の割合が20%と懸念される。また、「スマホの1日の使用時間」（別データ）によると、「成績下位群」は、1日に3時間以上使用しているという生徒が58%と高く、「成績上位群」は20%にとどまっている。